

# 算数科 小学校 1年

単元名「3つのかずのけいさん」  
啓林館 わくわくさんすう1

## 単元の流れ（全5時間）

【第1時】

### 主な学習内容

・ブロックと対応させて2度増えた場面を1つの式で表す方法を考える。(加・加)

### 「知識・技能」を定着させるために

絵に出てくる動物の上にブロックを置き数えさせる。

【第2時】

### 主な学習内容

・ブロックと対応させて2度減った場面を1つの式で表す方法を考える。(減・減)

### 「活用」の力の育成のために

数が3つになっても引き算の式に表せることを理解させる。

【第3時】

### 主な学習内容

・ブロックと対応させて減って増えた場面を1つの式で表す方法とブロック操作と立式とを結びつけるために問題文の内容を説明させる。法を考える。(減・加)

### 「活用」の力の育成のために

【第4時】 本時

### 主な学習内容

・ブロックと対応させて増えて減った場面を1つの式で表す方法を考える。(加・減)

CLICK

詳しい単元指導計画はこちら

【第5時】 評価テストをする。

CLICK

評価問題

単元目標

- 3つの数をたしたり、ひいたりする計算の意味を理解し、計算ができる。

### 単元構成の意図

「増えて増える場面」「減って減る場面」「減って増える場面」「増えて減る場面」を具体的な場面で理解させると同時に、ブロックに置き換えて操作したり、図をかいたりしながら数値の増減を意識させ、立式させる。こうして具体物を用いた活動と数の計算とを結びつけて3つの数の計算の意味を理解し、計算できるようにする。

### 「活用」の力を育てるポイント

- ①ブロックの操作と立式とを結びつけるために、問題文の内容を言葉で説明させる。
- ②式の前から順に計算していけばよいことに気付かせる。

### 「知識・技能」定着のためのポイント

- ①絵を見てお話を作る。
- ②絵の上にブロックを置き、数を数えてから、数字で表記する。
- ③2人組で交流し、自分の考えを相手に分かるように伝える。

本時の流れへ

HOME